四天王寺悲田院こども園・四天王寺悲田院児童センター研徳田

創立からの理念を大切に、悲田院の環境を生かした様々な関わりの中で、こども達の主体性を育めるよう、教育・保育を一体的に提供しました。

また、乳幼児期の子ども一人ひとりの健やかな育ちを保証するため、地域の子育て家庭へも積極的にアプローチを行い、子育ての不安や孤立感が生まれないよう努めてまいりました。今度もつながりを大切に、ニーズを的確に捉え、こども園としての役割を果たしてまいります。

～具体的な事業活動～

(1) 保育～子ども達の主体性を育む～

自然あふれる環境の中で、四季折々の遊びを経験し,豊かな感性を育めるよう保育の提供を行いました。その中で想像力を膨らませ遊びこみ、発想や表現を受け入れ一人ひとりに寄り添う保育を行いました。また、こどもの課題に共に向き合い、スモールステップを踏むことで自信を持ち様々な事に挑戦する意欲に繋げる事ができました。

高齢施設・障がい児施設のご利用者と定期的な交流を行い、思いやりの心や社会性を育むことができました。今後も、更に充実した交流を目指し、ご利用者満足に繋げられるよう取り組んでまいります。

(2) 人材育成～キャリアアップに向けて～

DO-CAPシートを活用し細かい面談を行いました。その中で、丁寧なヒアリングを行い、存在の重要性を伝える事で、モチベーションアップに繋げることができました。

また、雇用形態に関わらずキャリアアップ研修を受講し、全体の保育力向上を行いました。今後も継続して、個人の目標を重要視し、強みを発揮できるよう指導を行ってまいります。

(3) 地域貢献～安心への架け橋～

様々なニーズに合わせたサロンを行い、求められる 居場所づくりを行いました。

ご利用者同士を繋ぐ役割になれるよう、交流を深め、サークルの利用者増を図ることが出来ました。今後も、遊びの充実と心安らぐ居場所になるよう努めてまいります。

～改善活動～

(1) 保育の質の向上に向けて

職員会議を定期的に行い、保育について考える時間を多く持ち、世代を超えて意見交換できるようグループワークの充実を図りました。

(2) 業務改善について

保育士の負担軽減を図るため、保育補助職員の増員を行いました。今後は、こどもと離れてのノンコンタクトタイムの一定時間の確保に努め、更なる労働環境の改善と負担軽減を目指します。